

ち づ 智頭議会 だより

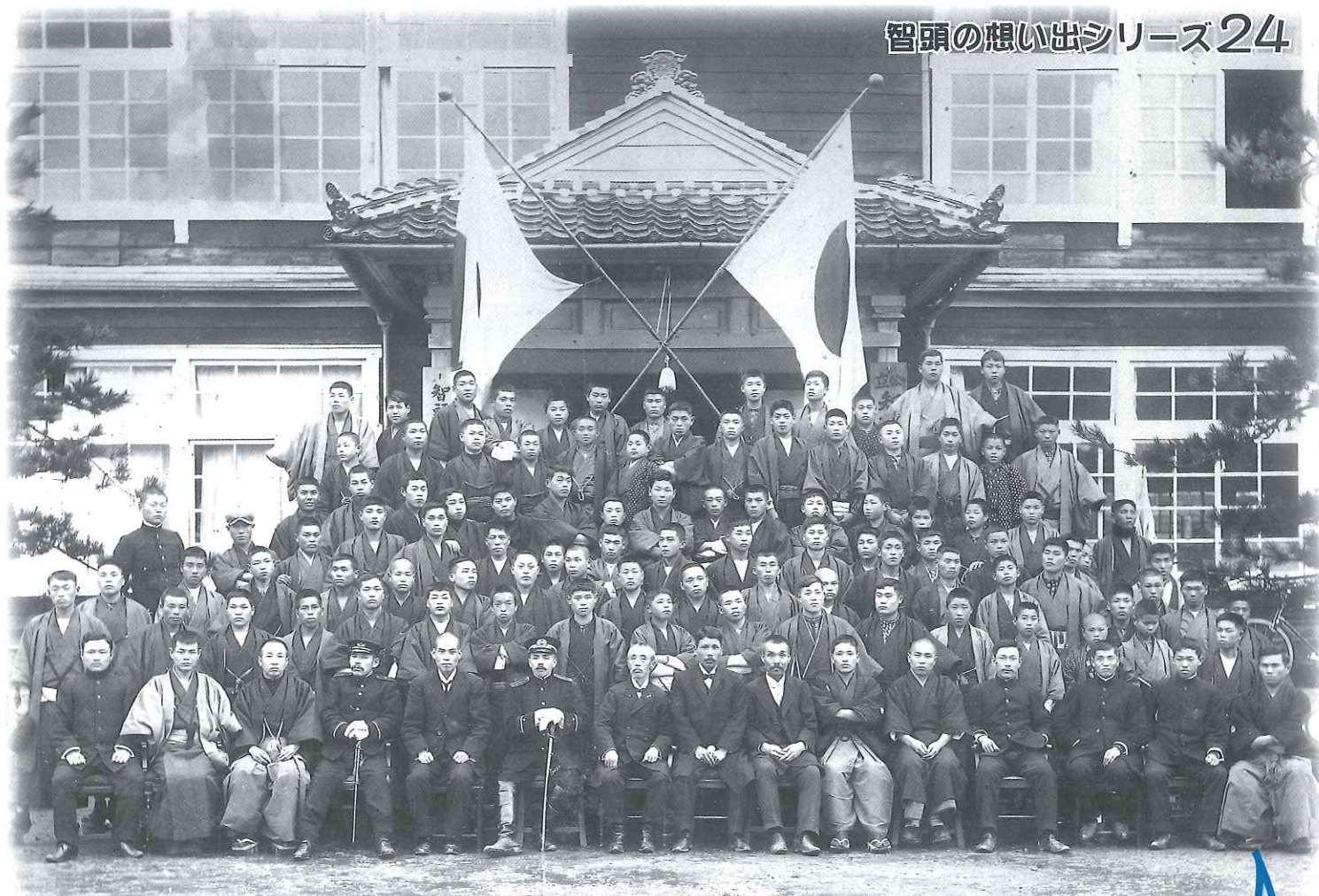


町の花
どうだんつじ

鳥取県智頭町議会

第135号

発行：平成28年8月22日



智頭の思い出シリーズ24

明治44年 4月 若連中を青年団に改称する
(智頭尋常高等小学校の前)

地方創生など
☆補正予算を可決...P2

☆8人の議員が町政に質問...P5~P12

☆委員会報告...P13~P15

☆町民の声...P16



統合5年目となった智頭小学校



6月定例会

地方創生、企業誘致経費など可決

6月定例会（6月28日から7月4日）で、平成28年度補正予算案や条例案など14議案ほかを審議し、原案どおり可決しました。主な補正予算の内容は次のとおりです。

一般質問には8人の議員が町政をただしました。（5〜12ページ）



地方創生推進事業

9111万円

■財源

国補助金 7761万円
 県補助金 200万円
 町のお金 1150万円

成り立つための事業展開
 1050万円

- ・林業塾（知識習得など）
- ・森の学び舎（実践的な技術研修）
- ・山林バンク制度の導入

③木材消費促進・販路開拓

- ・薪ストーブの導入支援
- ・町産材の住宅建築支援
- ・智頭杉の新商品開発

④育みの郷構想の実現

- ・産科医院（空き家活用を検討）の誘致
- ・女性サポートセンターの設置（出産から育児の悩み、女性特有の悩みをサポート）

商工振興費

5174万円

■財源

県補助金 2143万円
 借入金 2390万円
 町のお金 641万円

■主な事業内容

- ・企業立地促進の補助
- ・旧山郷小学校への企業誘致（コールセンターのための校舎改修）

注 コールセンター

顧客への電話

対応業務を専門的に行う事業所・部門

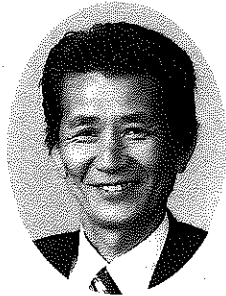


旧山郷小学校

平成28年度予算の補正 6月定例会（全員賛成で可決）

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容(上記以外)	
一般会計	2億5540万円 増	68億7340万円	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり支援事業(2000万円) ⇒今後の交付申請受付に備えて増額 ・地籍調査事業(822万円) ⇒芦津地内の新たな区域への着手のため増額 ・緑の産業活力創生プロジェクト事業(600万円) ⇒森林組合が導入する節埋め加工機の補助 ・公共林道事業(3780万円) ⇒宇波竹之下線の早期完了のため増額 	
特別会計	国民健康保険事業	61万円 増	10億9313万円	4月の人事異動による人件費の調整
	公共下水道事業	151万円 減	2億9826万円	〃
	介護保険事業	161万円 減	10億4014万円	〃
病院事業会計(資本的支出)※	160万円 増	2億4806万円	医療機器の整備(業務用厨房機器)	

※施設の建設改良に関する投資的な経費等



河村仁志氏が初当選

6月5日に執行された補欠選挙で、河村仁志氏（54歳）が初当選しました。

町議会補欠選挙

総合案内所の休館日設定で 賛否分かれる

【条例4議案を可決】

区分	条例名	概要	要	可決
一部改正	景観条例	智頭町の景観計画を策定するまでは、県の計画を適用しているが、本年3月31日に智頭町の計画を策定したため、附則の経過措置の規定を削除する。		全員賛成
	総合案内所の設置・管理条例	観光協会が指定管理しているが、現状の運営状況を考慮し、休館日を新たに設ける。 ・毎週水曜日 ・国民の祝日の翌日 ・12月29日から1月3日（現在：12月28日から1月2日）		賛成多数 2議員が討論（下記）
	病院事業の設置等に関する条例	地域包括ケア病床5床を7月から10床に変更することに伴い、特別個室の料金を引き下げ、利用促進を図る。（1床1日5,400円→3,240円）		全員賛成
	病院運営審議会条例	健全経営について調査審議するため、委員の増員（6人以内→8人以内）などを規定。		”

総合案内所の設置・管理条例に対する討論

反対討論

中野ゆかり

業務量が増大し、多忙を極めているから休館日を設ける、という発想は、民間企業ではあり得ない。4年前、総合案内所は、本町の観光行政を推進するため、年末年始以外は無休とすることに決まった。また元に戻すことに矛盾を感じる。

【反対議員（4人）】
河村仁志、中野ゆかり、岸本眞一郎、石谷政輝

賛成討論

大藤克紀

総合案内所の管理は、一般社団法人智頭町観光協会が指定管理者となっており、第3種旅行業を取得し業務が多様化して、業務に支障をきたすため、理事会で承認決定された。職員の健康・福利厚生面から考慮して妥当であると判断する。

地方自治法に基づいて議決した主な議案 6月定例会（全員賛成で可決）

議案	概要	要
副町長の選任	金児副町長の任期満了（7月4日）に伴い、引き続き同氏を選任するため、議会の同意を求められたもの	
鳥取市と智頭町との鳥取クレ射撃場の運営に関する事務の委託に関する協議	銃器の取り扱い技術の取得、射撃技術の向上、狩猟者の育成確保のため、東部1市4町で設置する鳥取クレ射撃場（鳥取市覚寺）について、施設運営に関する事務を鳥取市に委託する規約を定めることについて、議会の議決を求められたもの。	
訴えの提起 （相手方：本折畜産組合）	以下の理由（要旨）により、議会の議決を求められたもの。 ・町は、昭和59年度から本折地区の産業振興の一環として、国の事業により畜産団地を整備し、維持管理を本折畜産組合に委託。 ・平成14年からは国、県の事業要件（戸数3戸以上）を満たさない状況となり、町は平成21年から指導助言を行ってきた。 ・改善が見受けられない状況のため、平成28年3月31日をもって施設管理委託契約を解除。（事前に組合側へもその旨を示した。） ・契約解除後も組合側が施設を占領しているため、土地建物明渡請求の訴えを提起するもの。 （議決にあたり、直接の利害関係にある岸本議員は法律の規定により退席）	

陳情の審査結果 (全員賛成)

採択

次の2件については、陳情の趣旨を認め「採択」しました。

件名	提出者
① 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合東部支部 支部長 橋本 智洋 鳥取県高等学校教職員組合東部支部 支部長 伊藤 博則
② 大屋橋河床部の掘り下げ及び防水壁の設置に関する陳情書	慶所集落 世話人 浮田 孝

①については、政府に意見書を提出。

趣旨採択

次の1件については、「趣旨採択」しました。

件名	提出者
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村 裕生 智頭町職員労働組合 執行委員長 小坂 明彦

※趣旨採択とは、「願意は妥当だが、実現性の面で確信がもてない」ということ。

【理由】 陳情項目中、一部表現が適当でないものがあるため。

■ 工事請負契約の締結 第2回臨時会 (5月27日) 全員賛成で可決

工事名	工事場所	契約金額	契約の相手方	契約の方法
智頭町立保育園新築工事	智頭町大字智頭	6億8580万円	大和・懸樋・田中工業 特定建設工事共同企業体	一般競争入札

注：予定価格が5000万円以上の工事は、議会の議決が必要。

■ 物品購入契約の締結 第2回臨時会 (5月27日) 全員賛成で可決

物品名	契約金額	契約の相手方	契約の方法
智頭町立保育園新築工事に伴う木材料	5908万円	智頭町森林組合	指名競争入札

注：予定価格が700万円以上の物品購入は、議会の議決が必要。

次ページから

一般質問について

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

一般質問の録画をインターネットで見ることができます。

6月定例会には19人の傍聴者がありました。



智頭町役場ホームページ ▼

トップ画面

智頭町議会
録画放送 ▼

トップ画面の下方の左側にあります

智頭町議会 ▼

智頭町議会録画放送 ▼

議員の画面をクリック



石谷 政輝

地方創生

町長／戦略を着実に実施していく

問 本町では国が地方創生を掲げる以前から実情に合ったまちづくりを模索し地方創生の大きさがけとなってきた。国の現状では地方の課題に向き合った政策が前進している実感がまだない。本町のまちづくり政策計画を国へ提出しても何点か却下されている。国と地方の目線のずれや格差を感じる。もつと地方同士が協力していけないか。今後の智頭町の向かうべきまちづくりは。

答 町長 それぞれの地方が自主性・主体性を発揮し、実情にあった戦略を策定したところである。

ろである。この総合戦略は平成27年度から5年間取り組み、それに要する国の支援として先行型交付金と加速化交付金に分かれる。審議官によって理解度は正直ばらばらだったことに直面したが、評価もいただいている。重点施策を着実に実施していく。

総合戦略のパンフレット

軽自動車税

手続きのチェック機能は町長／二度と起きないよう厳重注意

問 今年度の税務手続きで起こった不備について、今後の対策は。

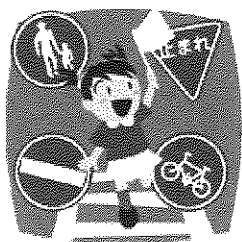
答 町長 今年度から新税率が適用されたが、課税段階において、

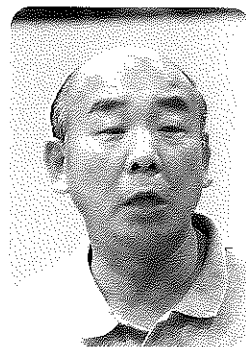
横断歩道

町民グラウンド用に設置しては町長／県などに問いかけていく

問 年間を通して様々な催しや駐車場として利用される町民グラウンド。国道側出入り口には横断歩道がなく危険な横断をする方もいる。設置の検討は。

答 町長 既存の横断歩道が近くにあり、横断者もそれほど多くないという理由で認めら





谷口 雅人

産業振興

地酒で乾杯条例の制定を

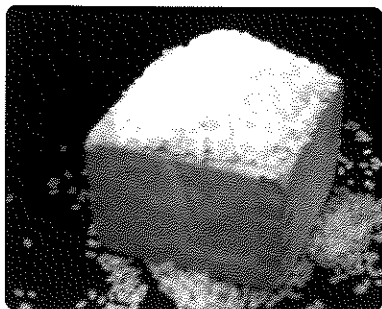
町長／趣旨は理解、継続的に考える

問 まちの公の場で酒

に関する発言は「不謹慎」極まりないと思われ、私に極めて「真面目」であり「真剣」だ。「地酒」は主に日本酒で、主原料は水と米であり、それを支えた地域の「伝統・文化」である。「日本農業の主役である米」は、昭和45年から始まった減反政策によって、一定の秩序の中で生産されたが、平成30年をもって終了し、新しい枠組みにより生

産の大変革が始まる。

生産量は少なくとも、評価の高い智頭町の米は、自らの町で誇り高く消費されるべきだ。地酒もまた「酒米」として消費に貢献する。「酒」いわゆるアルコール類は、成人がたし



日本農業の主役「米」

なむ嗜好品で決して強制されるものではないが、町及びそれに準ずる公の団体が、宴席で「地酒で乾杯」を行うことは、農業の生産基盤の安定に寄与する。努力義務を前提とする地域循環型「産業・経済」の進展を望む。

答 町長 趣旨は大いに理解するが、個人の嗜好にかかわる問題で、町として制定はまだ考えていない。多くの条例は議員提案で制定されているが、智頭町の農業としての酒米等を加味し、継続的に考えさせていたいただきたい。

寄 宿 舎

智頭病院E棟の用途変更を

管理者／補助金返還が生じ困難

問 本町に立地する県

立智頭農林高校の維持存続は、町にとって大

きな存在だ。

加えて、看護学生の研修に対し宿泊施設も満



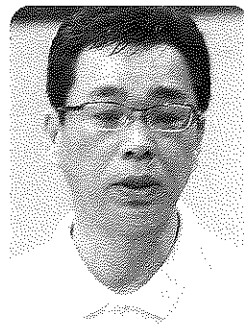
有効活用が望まれる智頭病院E棟

足な状態といえない。このため、智頭農林高校支援と看護学生の寮として、E棟の有効利用に向けて用途変更はできないか。

答 町長 農林高校の県外生徒のため、現在、高校所有の建物を想定し、改修費を県・学校と協議中。

答 病院事業管理者

看護学生は、平成26年に県の補助により旧看護師宿舎を改修したところで、当面は支障がないと思う。E棟を用途変更すれば、補助金の残高（返還）が本年度末で1億3千万円となる。償還の終期（制限期間）がまだ8年間あるので、なかなか難しい。



大河原 昭洋

福祉施策

智頭町らしい福祉の向上とは

町長／「森のミニデイ」の全町展開を目ざす

問 町長選挙の中で、都市部ではできない肩と肩とを寄せ合って生きる智頭町らしい福祉の向上を目ざすと訴えていた。何を具体的に進めるのか。

答 実効性のあるものにつなげるには住民の理解と協力意識の向上が必要である。どのように進めるのか。

答 町長 それぞれの地域で高齢者を支援するため意識の醸成と、運営する地域組織へ積極的な応援を行い、「森のミニデイ」の仕組みを全町に展開する。



介護予防の取り組み
山形地区の「森のミニデイ」

森のミニデイ

山形地区振興協議会が運営する介護保険を使わない手づくりのデイサービス事業。

産業活性化

大阪のPR拠点設置の目的は

町長／智頭材が売れる仕組みを構築

問 林業・木材産業の活性化を推進するための拠点という位置付けであるが、智頭材の需要拡大に向けて今後の取り組み方法は。

答 町長 林業振興なくして本町の地方創生はないと考える。西日本との連携を通じて、智頭材の魅力伝える取り組みを積極的に仕掛ける。



自伐型で林業継承「軽架線による木材搬出」

じるように事業を推進している。既に女性サポートセンター「いのちね」を開設した。

問 未熟なまま親になっっていることが幼児虐待につながり、社会問題化している。親子の愛着形成のためにも出産前から命の大切さを考えさせるといふことか。

答 町長 命の尊厳や出産という神秘的な世界を若い世代が自ら考え、しっかりと理解してもらうためにも医師を含めた産科医院の誘致を進める。

総合戦略

「育みの郷」構想の方向性は

町長／「幸せなお産」産科医院の誘致

問 妊娠から出産、子育てや女性の体を包括的にケアする体制の整備と謳われているが、どのような観点で推進

するのか。

答 町長 豊かな自然の中で出産や子育ての喜びと素晴らしさを感じ



赤ちゃんの笑顔が最高の幸せ



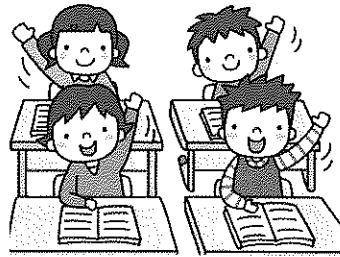
平尾 節世

消費者教育

幼児・児童・生徒の教育は

町長／小・中学校で学習している

問 現在の社会は生活の形態が多様になり、さまざまな消費者被害も耳にする。消費者教育に関する教育機関の実態調査では、学校と消費生活相談窓口との連携はあまり取れていないとの結果が出ている。学校では教育過程があるので難しいかも知れないが、子どもの時から適切な消費感覚を身に付けるため、幼児・児童・生徒の消費者教育はどのように取り組まれているのか。



答 町長 小学校5年生では金銭の大切さ、気付き、身近な物の選び方、買い方などについて、中学校3年生では消費生活におけるトラブルと、その解決方法について学習している。

社会教育

計画の具体的な内容は

教育長／5年の計画で住民の活動を支援

問 3月議会で今年度に社会教育計画を策定すると明言されたが、進捗状況と具体的な内容はどうか。

答 町長 現在、世代間の繋がりが希薄になっている。3世代が集う生涯学習の場づくりをしてはどうか。

問 八頭町では青年団が再結成された。本町でも若者の集結する場が必要と考える。議員研修で、住民から盛り上がるのが理想だが必要なことなら行政が動くべきと聞いた。町の思いの強さはどうか。

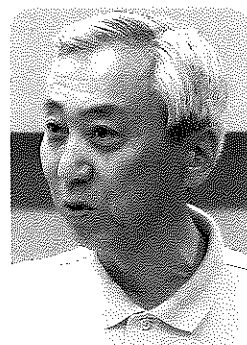
答 教育長 現在、社会教育団体・公民館・図書館などから情報収集をしている。これまでに積み重ねてきた本町の社会教育を土台として基本となる施策の柱づくりを進めている。期間としては5年を考えている。本年度は住民の多様なニーズに適切して、主体的な学習や活動を支援することができるように、計画内容を練り上げている。

答 教育長 世代間の繋がりは、どの世代にも大切だと認識している。交流ができればという思いは同感。

答 教育長 ぜひにと思っている。タイムイングをつかんで小さなお子からでも大きくしていきたい。



世代間が集う町民体育祭(7月17日)



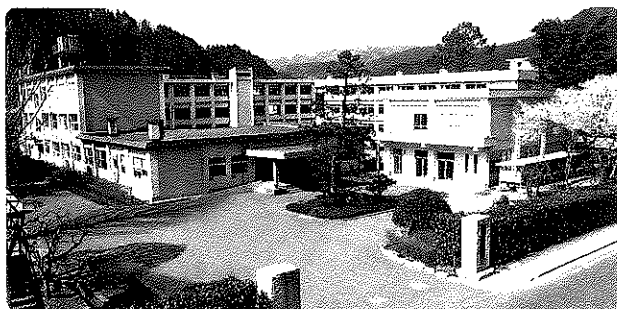
高橋 達也

農林高校
町長／危機感があり何としても守る
立地自治体として二層の支援策を

問 今春の智頭中学校の卒業生のうち、智頭農林高校への進学者はわずか2人ということだが、どのように認識しているか。

答 教育長 咄然とした。町民の皆様の農林高校に対するさらなる理解と協力が得られるよう努めていきたい。

答 町長 私も咄然とした。保護者の誘導が大きいのではと思う。農林高校が智頭町から



平成32年に創立80周年を迎える県立智頭農林高校

消えたら、町は完璧に衰退してしまうと危機感をもっており、何としても守っていく。

問 中国地方で唯一の林業専門科をもつ農林高校だ。林業の良さをもっとPRして進学を促してはどうか。

答 教育長 林業も大切だが、農林高校は部活が少ないため、魅力に欠けるということも高校選びのポイントのような。

問 卒業後の進路も重要だ。智頭町役場の職員に農林高校の卒業生を増やす仕組みが必要ではないか。町民の多くからは理解が得られると思う。

答 町長 採用試験では智頭町出身の高校卒業枠を設けている。町としては農林高校の卒業生を採用する気持ちは十分にもっている。

ウグイ

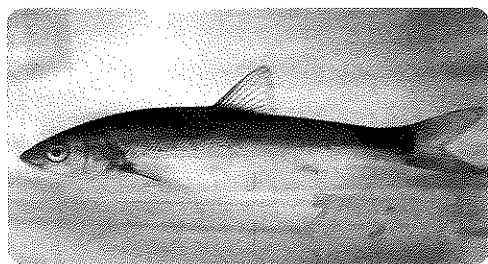
「じゃぶ」めざし放流を継続すべき
町長／鳥の捕食被害どう対応するか課題

問 昨年の12月定例会に続き、第2弾の質問を行う。県が今年度からウグイの放流事業を始め、4月に毛谷で放流されたことが「広報ちづ6月号」で紹介された。町はどの程度関与しているのか。

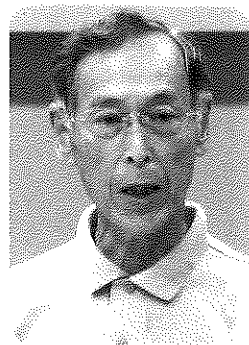
答 町長 冬の「じゃぶ」を観光に使う手もある。問題は放流してもカワウやサギにおやつを与えてしまうことになる。この問題をどうするかを考えなければいけない。

問 県の事業期間は今年から3年間だが、智頭町内での放流は次年度以降は未定だ。町が独自に予算を組んで、来年は土師川、再来年は新見川へと今後も放

流を継続すべきだ。県の事業と一緒に実施することで、検証や整理がしやすくなる。



インターネットで紹介されているウグイ



徳永 英太郎

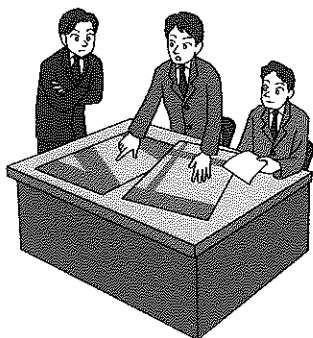
総合戦略

総合計画との基本的な考え方は
町長／人口減少に歯止めをかける

問 改めて、「総合計画」と「総合戦略」のそれぞれの基本的な考え方を聞きたい。

人口減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域が将来にわたって活力ある地域社会を維持していこうとするための施策だ。12の重点施策は本町独自の施策であり、国の採択がなくても推進していくものだ。

答 町長 総合計画は市町村における町づくりの最も基本となる計画であり、地域における行政運営の長期的な指針となる。本町の特性や課題、時代の流れなどの確に見極めながら、総合的・体系的にまとめたものである。総合戦略は急速な少子高齢化の進展に伴い



子育て支援

家庭での子育て支援策は
町長／引き続き検討していく

問 本年度から保育料が第2子以降無料となったが、家庭で子育てをする世帯に対しての経済的な支援等はどう考えているか。

討したが今回は見送った。鳥取県でも制度の導入に向けて検討されている。本町の実態に見合った制度となるよう引き続き検討していく。

答 町長 いろいろ検討

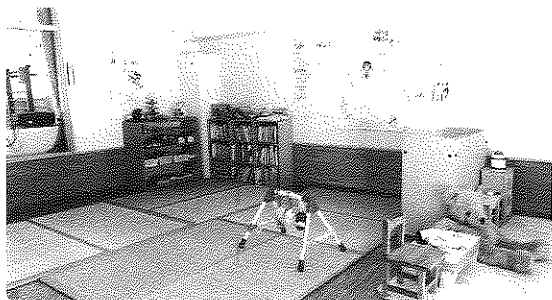
教育力の向上

家庭の「しつけ」、地域の教育力は
教育長／大人の力不足が問われる

問 教育ビジョンでいう家庭・地域の教育力の向上と、乳幼児期からの家庭における「しつけ」について、基本的な考え方は。

豊かな情操であったり思いやり、正義感、規範意識などは本来保護者の責任で子どもたちに身に付けさせるべきものだ。保護者はもとより、家庭や地域の大人が学び実践することの力不足が問われている。「しつけ」は親の

責任や判断で行うものと考えられる。近頃の子どもは自分中心で、マナーやエチケットなどの社会性に欠ける傾向がある。社会教育の充実が必要であり、そのための核となるのは地区公民館を中心とした学習や、体験授業が軸となる。



子育て支援センター(中原地内)



中野 ゆかり

ホームページ
町長／速やかに内容を精査する

じょうほうていききょう
情報提供や公開の考え方

問 基本的な考え方を聞きたい。

答 町長 提供すべき内容をそれぞれの担当課で確認し、速やかに公開するよう徹底している。

問 本町のホームページは、情報の更新が早急に必要である点が多々ある。
例えば教育課は、現在の情報ではなく、3年前の青少年育成事業や2年前の成人式事業

が現在進行形で掲載されている。税務住民課は、児童手当の資料及び児童扶養手当の資料が古いため、削除が必要である。総務課は、2ヶ月前に作成された防災ハザードマップの掲載が未だにない。

答 町長 住民の皆さんへ情報提供をしようとする意識が欠けているのではないか。

答 町長 返す言葉がない。そのとおりだ。



本町ホームページの最初のページ

問 子育て真っ最中の若い夫婦にとって統合保育園建設事業というのは関心事の一つだ。しかし、町のホームページには掲載がない。いつ、どこに、どんな保育園が建つのか、また今どんな状況かなど掲載すべきではないか。

答 町長 速やかに幹部会を開き、徹底して内容を精査したい。

問 今年5月に防災ハザードマップ(*)が各世帯に配られた。何部作っていくらかかったか。

答 町長 6種類(6地区)3000部作成し、411万2千円を要した。

問 住民の方はもらつた後、しまい込まれている。

作って終わりではなく、ホームページに掲載したり、せめて避難場所には貼ってもらおうなど、役場としても行動していくべきではないか。

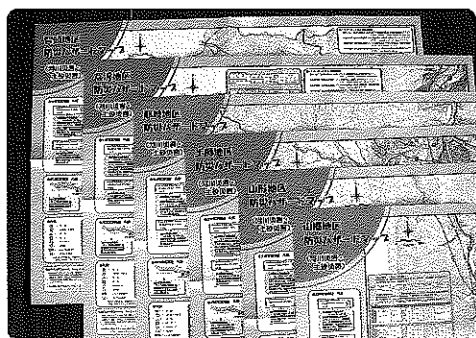
答 町長 町民に温かい手を差し伸べられるような体制でいきたい。

防災ハザードマップ

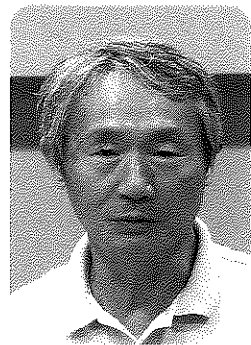
作って終わりではなく行動を
町長／温かい手を差し伸べられる体制でいく



6地区ごとに作られた防災ハザードマップ



*ハザードマップ
↓防災地図



岸本 眞一郎

福祉行政

現状と今後の方向性は
町長／地区の要望に応える優しい福祉

問 町長選には、福祉

の充実を公約のトップに掲げて再選された。

一方で、平成28年度予算編成に当たったの基本姿勢での福祉の位置づけは、ほぼ例年ど

おりのもので、中心課題は町長の出馬の動機にもなった地方創生だ。

平成28年度当初予算での福祉の位置づけと、選挙公約での福祉の位置づけとに変化がみられるが、その理由は。

答 町長 当初予算の



住民の相談を受ける保健師

基本姿勢では、保健・

医療・福祉施策を一体的に推進することとしており、選挙公約の福祉の充実と何らかげ離れるものではない。

問 福祉行政の現状と

人口減少下での今後の方向性はどうか。

答 町長 基本的には

地区振興協議会を立ち

上げて、自らの地区を守る戦士であってほしい。皆さんの要望に応えるような、その地区に優しい福祉をやりたいと思っています。

福祉行政

三位一体の司令塔を
町長／今のところ置くつもりはない

問 三位一体の福祉・

地域包括ケアシステム（＝高齢者が住み慣れた地域や在宅で生活できること）などの政策の成果をあげるため、

実質的な司令塔的役割を果す人員の配置が必要ではないか。

答 町長 本町では、

各分野が日ごろ連携の中で協働しながら問題解決に向けて進んでいるところだ。これがどこにも負けない智頭ら



智頭病院の「そよ風通り」

しい福祉のスタートだと思っっているので、司令塔は今のところ置くつもりはない。

問 健康寿命の増大、

在宅での医療・介護の促進を図るため、保健師の活用を進めるべきだと考えるが見解は。

答 町長 これから各

地区でどういう悩みがあるか、どういうことを求めているのか、その都度に保健師の重要さなど、いろいろな問題が出てくると思う。それは私が責任を持って司令塔になって対処したいと考えている。

赤堀辰雄さんから情報提供

第132号

表紙写真の場所

昨年10月23日に発行した智頭議会だより132号の表紙写真の現在地を紙上でお尋ねしていただきました。赤堀辰雄さん（93歳・東宇塚）から今年6月20日に、智頭駅前の略図を添えて詳しい情報提供

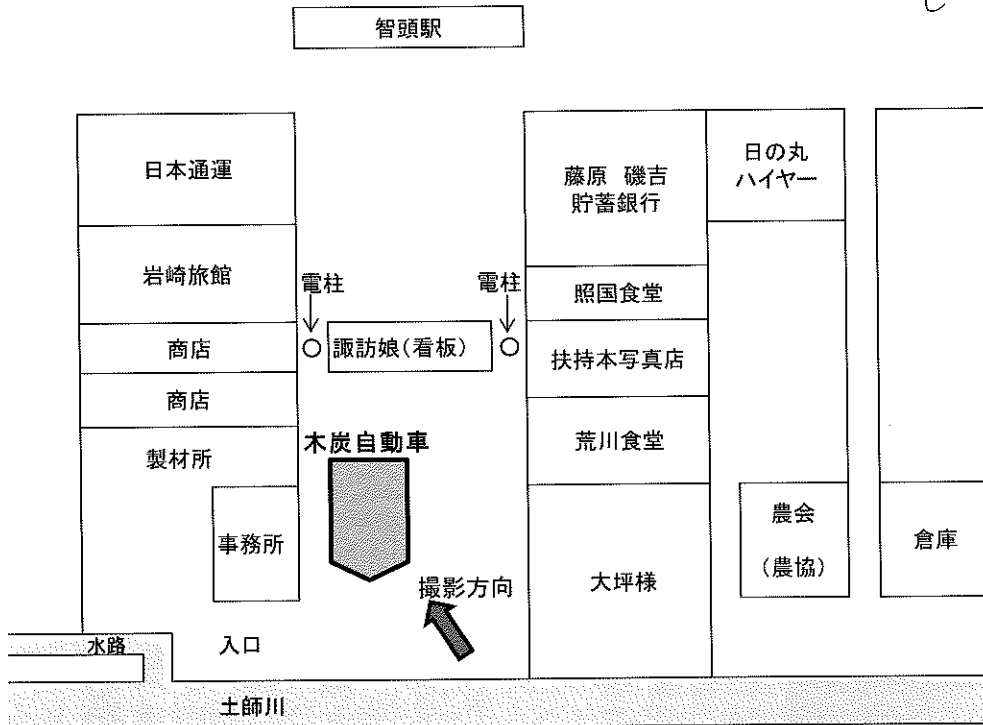
赤堀さんからの情報提供で、次のことがわかりました。①②③

- ①木炭自動車の撮影位置は、現在の役場前あたりで、土師川方向を前にして駐車されている。
- ②写真左側の2枚の看板のうち、判読しにくい左側は「因幡材木株式会社」と読める。
- ③写真右側後方の山は、段山と思われる。



智頭議会だより第132号の表紙写真（昭和16年6月木炭自動車 智頭木材統制株式会社創立事務所にて）

昭和12年頃の智頭駅前の略図（赤堀さん提供の手書き図面をもとに整理）



③写真右側後方の山は、段山と思われる。

議会報告会を開催しました

開催日：5月18日～20日
町民参加者総数：41人

報告会の中で、町民の方々から出された意見や要望については、町長に提出し、町長からの回答を受けた後、今後の議会だよりに掲載します。



富沢地区(5月18日)

智頭町議会は、熊本地震の災害義援金として、智頭町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に寄付しました。

保育園建設造成工事など視察

↳ 所管課の説明を受ける

4月15日

総務課

▼平成27年度分の地方創生加速化交付金

一次募集で国に申請していた約8千万円のうち、約7千万円が不採択となりました。二次募集に向け、再申請の作業中であり、6月定例会で補正予算を計上予定です。

(↓計上されました。2ページを参照)

▼平成27年度決算

基金(11町の貯金)の積み立てを可能な限り行います。

▼地域防災計画

見直しについて町の防災会議で了承を得た後、議会に説明します。

▼職員派遣

宮城県南三陸町、鳥取大学、東部県税事務所への派遣(各1人)を

継続し2年目となります。

企画課

▼地方創生事業

鳥取県因幡地域と兵庫県北但西部地域が広域連携で実施する観光事業は採択されましたが、それ以外は2次募集時となりました。(総務課の説明内容を参照)

▼熊本地震

疎開保険の加入者はいません。美しい村連合の加入町村での支援を検討中です。

▼移住定住

平成27年の移住者は、19世帯、37人でした。

教育課

▼保育園の建設

敷地造成工事を実施中。建築工事と構造材(町産材・約450㎡)の

木材調達は5月入札予定です。(↓入札されました。4ページ参照)

税務住民課

▼マイナンバーカード

435人から申請があり、264人に交付済みです。

▼本人通知制度(※)

151人が登録済みです。(うち町職員42人、町議9人)

※身元調査のために住民票や戸籍謄本が第三者に不正取得されることを防止するため、事前に登録した住民に、第三者に交付したことを通知する制度。

現地視察

各課の説明を受けた後、保育園建設の造成工事状況、勤労者体育館・温水プールの改修工事完成状況を視察しました。

5月23日

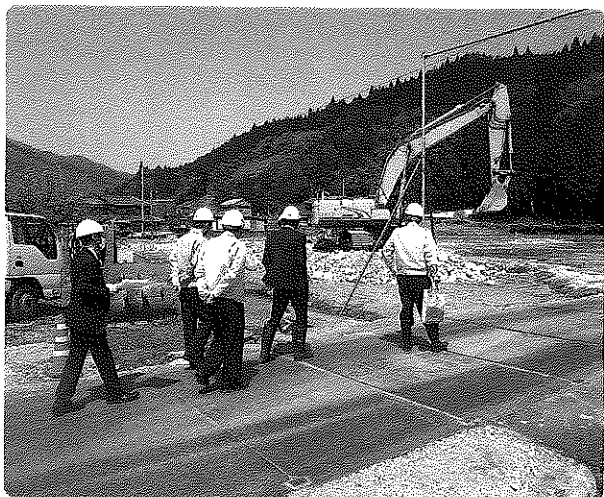
税務住民課

▼軽自動車税の課税誤り

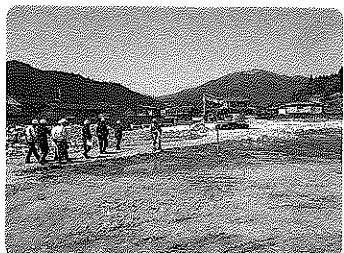
人為的なミスで、課税通知した4277台のうち830台(約2割)に徴収額の誤りがあったことが判明しました。お詫びします。(↓5ページ参照)

【議員から】

再発防止を徹底し、対象の住民には親切な対応を行うこと。



保育園の造成工事現場を視察



常任委員会室

自伐林家の郷
構想に質問

4月14日

福祉課
高齢者の福祉政策のタクシー助成申し込みは、4月10日現在、376人です。

山村再生課

総合戦略の「自伐林家の郷」構想について質問しました。

問 自伐型林業に取り組む若者や移住者に、町有地を無償提供すること
は、水源問題や外国資本等の例もあり、危険ではないか。㈱サングリーン
智頭などで研修し、人間性を見きわめてからにしてはどうか。

答 未経験の人は林業塾などで山に親しんだ後でないと作業はできない。

その後さまざまな場で経験を積んでもらい、無償提供は林業の力が付いてから状況を見て決定する。

社会福祉協議会

意見交換会を実施し、平成20年より毎月福祉課

・病院・社協で福祉の現状について情報交換をしていること、また介護保険制度の変更により、平成30年からの要支援者対策が課題となっていることについて話し合いました。今後、年に数回意見交換会をすることとまりました。

5月10日

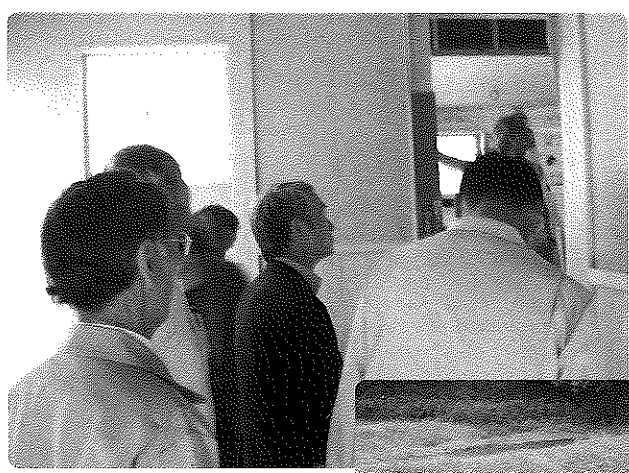
福祉課より平成28年度一人あたりの国民健康保険税額は、1万4272円になる見通しとの説明を受けた後、委員会視察研修について日時、内容について協議しました。

6月13日

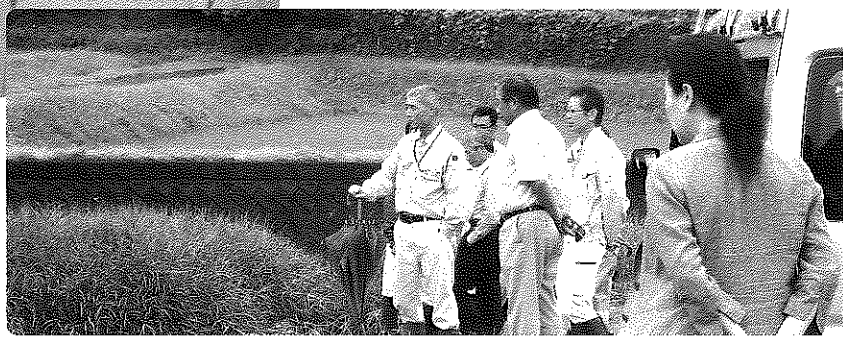
町内の現場を視察

智頭テクノパークの移住定住用木造住宅を視察し、建築業者から木材の使用量等について説明を受けました。

その後陳情を受けた現場、また、議会報告会で要請を受けた現場の視察を実施しました。



智頭テクノパークの移住定住用木造住宅を視察



陳情のあった現場を視察(慶所地内・大屋川)

6月30日

6月定例議会補正予算の所管部分や、条例等の質疑応答と陳情の審査をしました。

7月6日

昨年より実施している行政評価の今年度評価対象事業抽出への協議をしました。

7月12日

県土整備事務所長と面談し、町内全体の状況や個別の課題となっている場所について要望し、県としての考えを伺うなど、真摯に対応していただきました。

な ぎ
那 岐 は よ い と こ

いざなぎ振興協議会 事務員 大谷 優希さん ゆうき

▼私は今年の4月から、いざなぎ振興協議会の事務員として勤務させてもらっています。周りの方の温かさ
に感謝ばかりの毎日です。
▼私が那岐で暮らし始めたのは今から約13年前、親子3人で主人の実家へ戻ってきたことがきっかけでした。
▼当時2歳だった長女も現在中学3年生になり、那岐に来てから生まれた長男も今や小学6年生になりました。
▼那岐に来たばかりの頃は知り合いもほとんどなく、毎日心細かったのを覚えています。
▼子どもが保育園に通うようになってからは、保護者同士のつながりや、地域の方と関われる機会が増えてきました。その中で、那岐という地域がどんどん好きになっていきました。
▼保護者同士が、まるで友

達のように下の名前呼び合い、よその子も我が子と同じように可愛がり、叱り、皆で育てようとする姿がとても自然でした。
▼保護者ばかりでなく、地域の人達もよく声をかけてくださるので子ども達も相手方の顔を覚えることができたみたいです。
▼私自身も、行事に参加したり、その後の慰労会や懇親会に出席する中で様々なことを教わりました。
▼那岐の懇親会は、とても一体感があり男性も女性も

年配者も若者も一緒になって笑い合います。皆さんすぐく元気で寛大でとてもユニフォームのある方ばかりです。
▼その姿を見て、いずれは自分もこんな風に年を重ねていきたいなと思います。
▼そして、すごく嬉しいのは、地元の子ども達が『那岐が好き。那岐で良かった』と言ってくれることです。
▼人と人の関わりが薄くなってきている昨今、那岐の『熱さ』をどんどん広めていけたらいいなと思います。



今日も笑顔で頑張ります

編集後記

6月に町長の再選と欠員となっていた議席も埋まりました。町執行部と議会が切磋琢磨することにより、足下と先のバランスを取りながら地方創生の総合戦略を始めとする様々な施策が町民の皆様への安心感につながるようしたいものです。

また、5月に行った議会報告会の中でいただいた多くの町民の声を活かし、あらゆる場を利用して議会としての説明責任を積極的に果たして行きますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。(岸本)

編集 議会広報常任委員会

- 委員長 高橋 達也
- 副委員長 岩本富美男
- 委員 谷口 雅人
- 委員 岸本眞一郎
- 委員 大河原昭洋
- 発行責任者 議長 酒本 敏興

【正 誤 表】

智頭議会だより 第135号

15ページ

上から2段目左側

5月10日の記事

2と4行目

(誤)

「一人あたりの国民健康保険税額は、1万4272円」

(正)

「一人あたりの国民健康保険税の基本額は、年間約10万4千円」